ONKYO®

CD レシーバーシステム

X-U1

CR-U1（CD レシーバー）
D-U1（スピーカーシステム）
KD-A1（iPod ドック〔USB ドックオプション〕）

取扱説明書

はじめに 2
接続する 16
基本の操作 20
CD を再生する 22
iPod/iPhone/iPad を再生する 27
FM 放送を聞く 29
時計を設定する 32
タイマー機能を使う 33
困ったときは 36
主な仕様 39
修理について 40

Made for iPod iPhone iPad

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

主な特長 3

箱の中身を確かめる 4

安全上のご注意 5

CD(音楽CD、MP3)、USBフラッシュメモリー(MP3)について 8

製品の取り扱いについて 10

各部の名前 11
- 上面、前面パネル 11
- 表示部 12
- 背面パネル 12
- リモコン 13

準備する 14
- スピーカー(D-U1) 15

アンテナを接続する 16

スピーカーを接続する 17

外部機器を接続する 18
- パワーアンプ内蔵サブウーファーを接続する 18
- 再生機器との接続 18
- 電源コードの接続 18
- USBポートの接続について 19

基本の操作 20
- 電源を入れる 20
- 入力を切り換える 20
- 音量を調節する 20
- 音を一時的に消す 20
- ヘッドホンで聞く 20
- 低音または高音を調節する 21
- 重低音を強調する 21
- 表示部の明るさを切り換える 21

CDを再生する 22
- 本体で操作する 22
- リモコンで操作する 23
- 表示部の情報を切り換える 23
- CD(MP3)のフォルダやファイルを選ぶ 24
- 表示部のMP3情報を切り換える 25
- ランダム再生 25
- リピート再生 26

iPod/iPhone/iPadを再生する 27
- KD-A1の接続 27
- 本体で操作する 27
- リモコンで操作する 28
- iPod/iPhone/iPadのメニュー操作 28

FM放送を聞く 29
- 周波数を合わせて聞く 29
- 放送局を自動で登録する(オートプリセット) 29
- 放送局を1局ずつ登録する 30
- 登録した放送局を聞く 30
- 登録した放送局を削除する 30

USBフラッシュメモリーの再生 31

時計を設定する 32

タイマー機能を使う 33
- タイマーを予約する 33
- タイマーのOn(オン)(実行)/Off(オフ)(取消)を切り換える 34
- SLEEP(スリープ)タイマーを使う 34
- iPod/iPhone/iPadのアラーム機能を使用してのタイマー再生 35

困ったときは 36

主な仕様 39

修理について 40

ONKYOユーザー登録のおすすめ

オンキヨー製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

オンキヨーは、ユーザーの皆様により快適な製品サービスを提供するために、ユーザー登録を行っています。
お手数ですが、ご登録とアンケートにご協力をお願いいたします。

ユーザー登録いただきますと・・・
- メールアドレスをご登録いただくことで、Eメールによる製品サポート情報、製品関連情報をいちはやくお届けいたします。
- ご希望により、e-onkyo.comオンラインショップから情報メールをご案内いたします。
- オンキヨー運営関連サイトを便利にご利用いただくことができます。

弊社ホームページからご登録ください！
http://www.jp.onkyo.com/support/
- ご登録の際には、保証書等に記載の製品番号（SERIAL）をご用意ください。

※ ご登録いただいたお客様情報が、オンキヨーのサービス以外の目的で使用されることはありませんので、ご安心ください。

主な特長

総合

- 重低音の調節ができる S.BASS（スーパーバス）機能
- 低音や高音を調節できる BASS（バス）、TREBLE（トレブル）機能
- 外部 AV 機器を接続できる LINE IN（ライン イン）装備
- オーディオ出力 PRE OUT(SUBWOOFER)搭載
- ヘッドホンジャック搭載

CD プレーヤー

- CD-R、CD-RW 再生対応
- 音楽 CD、MP3 ディスクの再生が可能
- ランダム再生、リピート再生

スピーカー

- 硬度が高く響きの良い MDF 木製キャビネット
- 2 ウェイバスレフ型

iPod ドック（KD-A1）

- iPod/iPhone/iPad[*1] デジタル接続
- KD-A1を接続すれば、本機付属のリモコンでiPodの操作が可能
- iPod touch（タッチ）第 1・2・3・4 世代、iPod classic（クラシック）、iPod nano（ナノ）第 2・3・4・5・6 世代、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G、iPad[*2] に対応
- iPod/iPhone 充電機能
- iPad 充電機能（CR-U1、KD-A1 との組み合わせ時）
- iPhone 4 純正のバンパーを装着したまま取り付け可能

ラジオ

- 30 局メモリー可能な FM チューナー搭載
- オートプリセット

USB フラッシュメモリー

- USB フラッシュメモリーで MP3 ファイルの再生可能[*3]

タイマー

- タイマー機能
- おやすみ前にも安心のスリープタイマー機能
- 時計の 24 時間表示、12 時間表示切り換え機能
- iPod のアラーム再生機能で、本機の電源が入り、iPod への入力切り換えが可能[*4]

Made for iPod iPhone iPad

*1 iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
iPad は、Apple Inc. の商標です。
「Made for iPod」、「Made for iPhone」、「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone、iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
この製品と iPod、iPhone、iPad を使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

*2 iPad を接続する時は、KD-A1 以外は使用しないでください。発熱し、火災や故障の原因となることがあります。

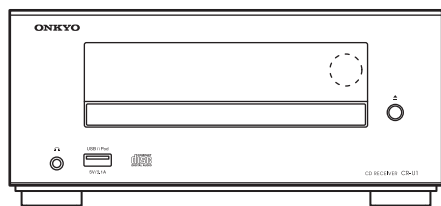
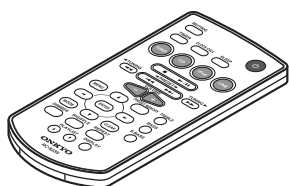
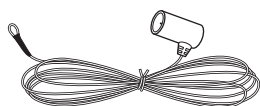
*3 KD-A1 を取りはずし、USB フラッシュメモリーを直接 USB ポートに接続した場合。

*4 iPod/iPhone/iPad の機種、アプリケーションによっては作動しないものがあります。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。

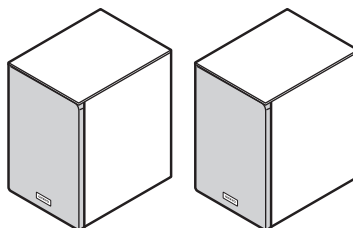
箱の中身を確かめる

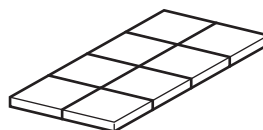
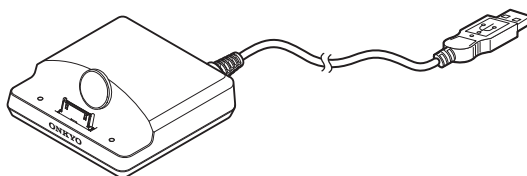
製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。( )内の数字は数量をあらわしています。

本体梱包

製品本体（1）

リモコン RC-823S（ボタン電池 CR2025 搭載済み）（1）

FM 室内アンテナ（1）

電源コード（1）

取扱説明書（本書）（1）
保証書（1）
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内（1）

スピーカー梱包

スピーカー（D-U1）（2）

スピーカーケーブル（1.1m）（2）

スピーカー用コルクスペーサー（8）

iPod ドック KD-A1（ケーブル長 0.6m）（1）

iPad 用スペーサー（2）

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⊘記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

・煙が出ている、変なにおいや音がする
・製品を落としてしまった
・製品内部に水や金属が入ってしまった
このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

CDレシーバーには内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。
・CDレシーバーを押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（CDレシーバーの天面、横から20cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
・逆さまや横倒しにして使用しない
・布やテーブルクロスをかけない
・じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、製品の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

製品に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
・風呂場など湿度の高い場所では使用しない
・調理台や加湿器のそばには置かない
・雨や雪などがかかるところで使用しない
・製品の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが製品の下敷にならないようにする
・傷つけたり、加工したりしない
・無理にねじったり、引っ張ったりしない
・熱器具などに近づけない、加熱しない
コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

■CDレシーバー内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
・CDレシーバーの通風孔、CD挿入口から異物を入れない
・CDレシーバーの上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■CD挿入口に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら製品、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■長期間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

電池に関するご注意

■電池を充電しない、分解しない、水の中に入れない、火の中や直射日光にあてるなど過度に温度の高いところに置かない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・指定以外の電池は使用しない
・電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
・コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
・極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

■ボタン電池は、小さなお子様の手の届かないところへ置く

必ずする

小さなお子様が誤って飲み込むと大変危険です。お子様の手の届かない所へ保管してください。万一飲み込んだ可能性がある場合、大至急医師に相談してください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■製品の上にものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、製品に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

製品を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

ON/STANDBYボタンで本機をスタンバイ状態にしているときでも本機は通電しています。完全に電源を切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

CD レシーバーの通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量を上げすぎない

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■製品の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

製品の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■ 機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■ 本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

CD（音楽CD、MP3）、USBフラッシュメモリー（MP3）について

再生上のご注意

CD(コンパクトディスク)はディスクラベル面に下記のマークの入ったものをご使用ください。

※ 本機はCD-R、CD-RWに対応しています。
ディスクの特性、傷、汚れ、録音状態によっては再生できないことがあります。また、オーディオ用CD レコーダーで録音した場合、ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは絶対に使用しないでください。ディスクがつまるなど機器の故障の原因となります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

MP3ディスクの再生について

本機はCD-R/CD-RWに記録したMP3ファイルを再生することができます。

- ISO9660レベル2のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。ただし、対応している階層はISO9660レベル1と同じ8階層までです。また、HFS(hierarchical（ヒエラルキカル） file（ファイル） system（システム）)ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- ディスクはクローズ(ファイナライズ)してください。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32/44.1/48kHz、ビットレート(32～320kbps)固定ビットレート(CBR)で記録されたファイルに対応しています。
- 1枚のCDで認識できるフォルダの数は299までです。また1つのフォルダ内で認識できるファイルの数は648までです。

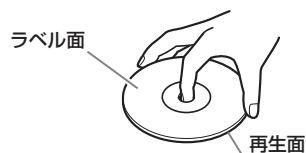
USBフラッシュメモリーの再生について

- 本機はUSBフラッシュメモリーに記録したMP3ファイルを再生することができます。
- USBフラッシュメモリーのフォーマットは、FAT16、FAT32に対応しています。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32/44.1/48kHz、ビットレート(32～320kbps)固定ビットレート(CBR)で記録されたファイルに対応しています。
- 1つのUSBフラッシュメモリーで認識できるフォルダの数は299までです。また1つのフォルダ内で認識できるファイルの数は648までです。

ご注意

- **レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)**
- **パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)**
- **データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。**

取り扱いについて

再生面(印刷されていない面)に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。

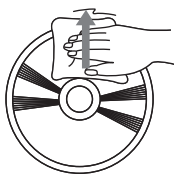
レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応 CD-R/CD-RW の注意について

プリンターでラベル面への印刷が可能な CD-R/CD-RW を本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となるおそれがあります。
必要なとき以外は、ディスクを取り出してケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは特に貼り付きやすいので、使用しないでください。

CD のお手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

製品の取り扱いについて

お手入れについて

本機の表面はときどき柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと、乾いた布で仕上げをしてください。固い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書などをお読みください。

テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
本機は（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合は本機をテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると、本機との相互作用によりテレビに色むらが発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

取り扱い上のご注意

スピーカーは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FM チューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用 CD などの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、電源コードを抜き、2～3時間以上室温で放置してからご使用ください。

メモリー保持について

本機には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。本機の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約５分間です。
ただし、時計は止まりますので、あらためて必要な設定を行ってください。

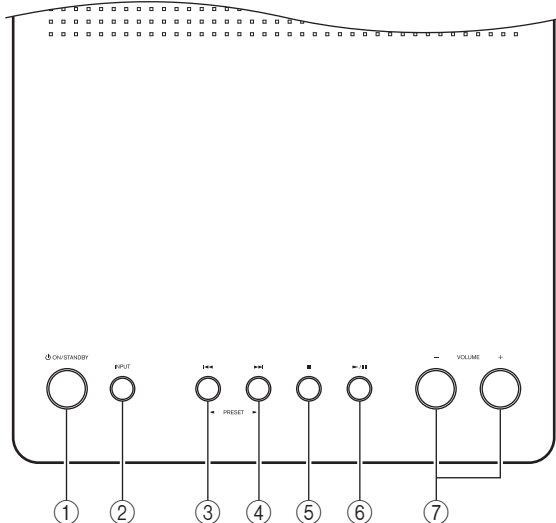
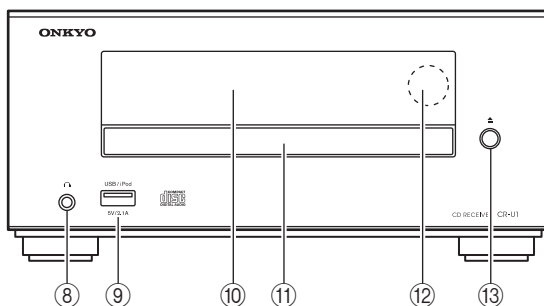
設置場所について

本機は直射日光の当たる場所や蛍光灯、殺菌灯などの下で使用した場合、紫外線等の影響を受けて変色することがあります。

各部の名前

上面、前面パネル

〔　〕内のページに主な説明があります。

上面パネル

前面パネル

① ⏻ ON/STANDBY（オン/スタンバイ）ボタン〔20、33、35、36〕

② INPUT（インプット）ボタン〔19、20、27、29、30、31〕

③ ⏮/PRESET◄（プリセット）ボタン〔22、27、30〕

④ ⏭/PRESET► ボタン〔22、27、30〕

⑤ ■（ストップ）ボタン〔22、36〕

⑥ ►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタン〔22、27、31〕

⑦ VOLUME（ボリューム）－/+ ボタン〔20〕

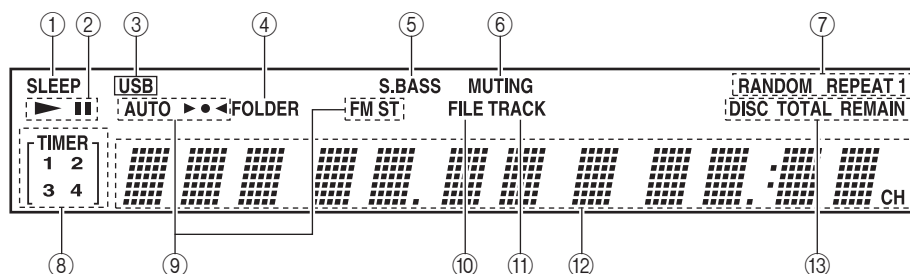
⑧ 🎧（ヘッドホン）端子〔20〕

⑨ USB ポート〔15、19、27、31〕

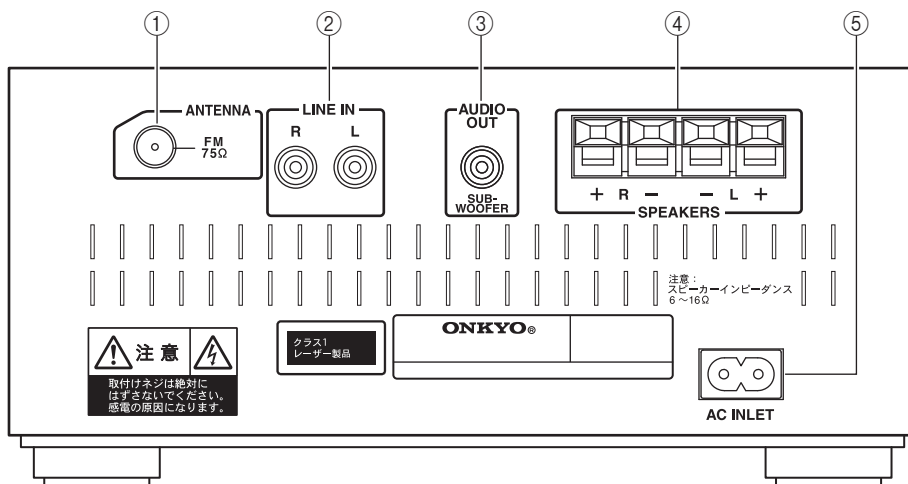
⑩ 表示部

⑪ ディスクトレイ〔22〕

⑫ リモコン受光部〔14〕

⑬ ⏏（イジェクト）ボタン〔22〕

表示部

① SLEEP 表示
② ►/❚❚ 表示
③ USB 表示
④ FOLDER 表示
⑤ S.BASS 表示
⑥ MUTING 表示
⑦ 再生モード表示
⑧ TIMER 表示
⑨ チューニング表示
⑩ FILE 表示
⑪ TRACK 表示
⑫ 多目的表示部
⑬ DISC、TOTAL、REMAIN 表示

背面パネル

① FM アンテナ端子
② LINE IN 端子
③ AUDIO OUT(SUBWOOFER)端子
④ SPEAKERS 端子
⑤ AC INLET

接続については、16 〜 19 ページをご覧ください。

リモコン

〔　〕内のページに主な説明があります。

① CLOCK CALL ボタン〔32〕

② MUTING ボタン〔20〕

③ TIMER ボタン〔32、33、34、35〕

④ 入力切換ボタン〔20、23、27、28、29、30、31〕

⑤ ■ 、►/II 、I◄◄、►►I、PRESET ◄ ►、◄◄、►►、TUNING ◄ ► ボタン〔23、24、25、27、28、29、30、31〕

⑥ VOLUME − /+ ボタン〔20、23、28〕

⑦ MENU ボタン〔23、24、28〕

⑧ ▲/▼/◄/►、ENTER ボタン

⑨ MODE ボタン〔19、24、29、31〕

⑩ DIMMER ボタン〔21〕

⑪ SHUFFLE ボタン〔25、26、28〕

⑫ PLAYLIST ▲/▼ ボタン〔28〕

⑬ ⏻（オン / スタンバイ）ボタン〔20、33、35〕

⑭ SLEEP ボタン〔34〕

⑮ PRESET MEMORY ボタン〔29、30〕

⑯ TREBLE/BASS ボタン〔21〕

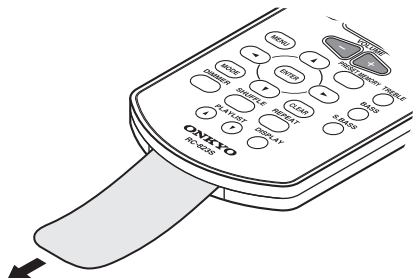
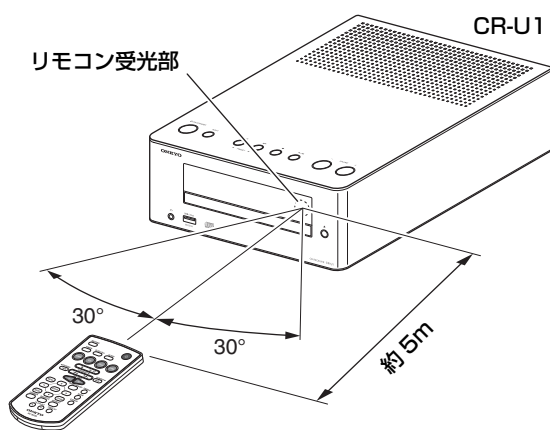
⑰ S.BASS ボタン〔21〕

⑱ CLEAR ボタン〔21、25、26、29、30〕

⑲ REPEAT ボタン〔26、28〕

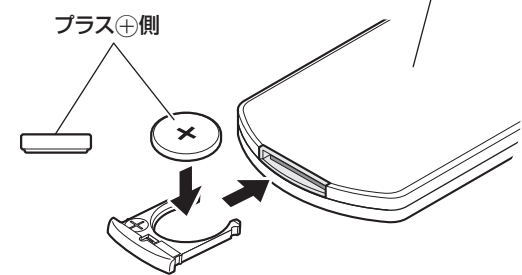
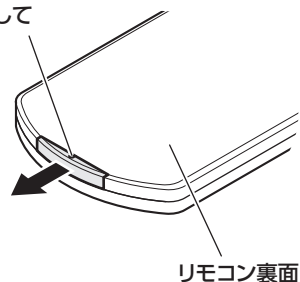
⑳ DISPLAY ボタン〔23、25、32、33〕

リモコンの使いかた

リモコンを使用する前に電池の保護シートを引き抜いてください。

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

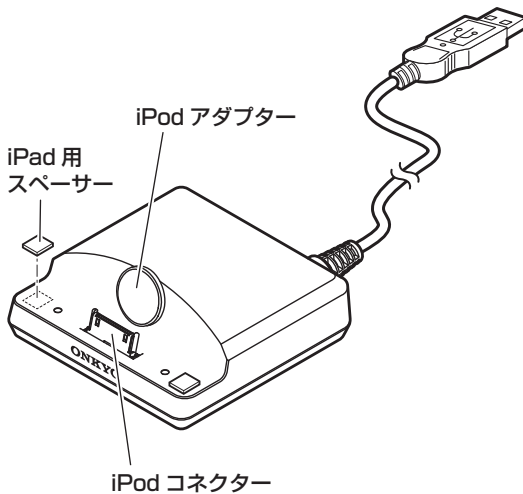
- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に、本などものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスが使われていると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

電池交換のしかた

電池は同じ型番のもの(CR2025)をご使用ください。

ご注意

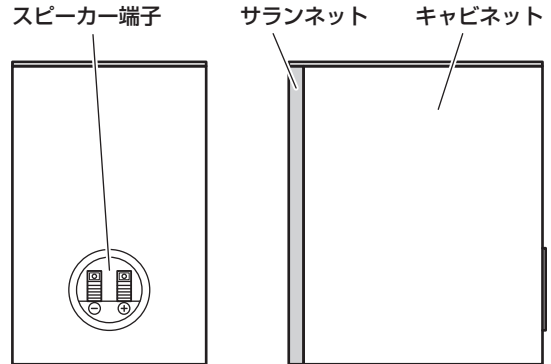
- リモコンの反応が悪くなった場合は、電池を交換してみてください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、電池をはずしておいてください。

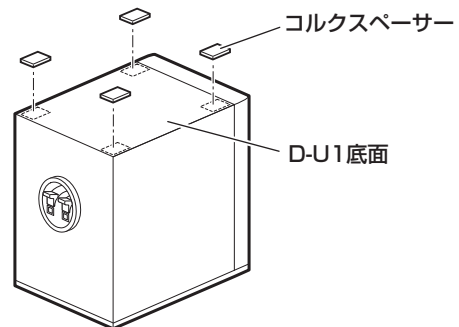
iPod ドック KD-A1

KD-A1をCDレシーバー本体前面パネルのUSBポートに接続します。次にiPod/iPhone/iPadのドックコネクタをKD-A1のiPodコネクタにしっかり差し込みます。iPod/iPhone/iPad によっては、iPod/iPhone/iPad 背面と KD-A1 との間にすき間ができますので、iPod アダプターを回して調節し、すき間をなくしてください。左に回すと iPod アダプターを手前に、右に回すと奥に調節することができます。
iPad を接続する場合は、ぐらつきを防止するためにiPad 用スペーサーを図の位置に貼り付けてください。

ご注意

- KD-A1 は、直接 CR-U1 の USB ポートに接続してください。延長ケーブルやUSBハブなどは使用しないでください。
- iPod/iPhone/iPadをケースなどに入れている場合は、完全に接続できず音が出ない、リモコンで操作ができないなどの問題が起きることがあります。iPod/iPhone/iPad はケースをはずしてから KD-A1 に接続してください。iPhone 4純正のバンパーは、取り付けたまま接続が可能です。
- iPod/iPhone/iPad を抜き差しするときは、ねじったりしてコネクタ部を傷つけないようにしてください。また、使用中に iPod/iPhone/iPad を前に倒したりすると、コネクタ部を破損する原因となりますので、ご注意ください。
- FM トランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となる場合があります。

スピーカー（D-U1）

D-U1 にはスピーカーの左右の区別はありません。どちらを左側 / 右側で使用しても音質は変わりません。

■ 付属のコルクスペーサーを使う

安定した設置と、より良い音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。

コルクスペーサーは、図のように D-U1 底面の四隅に貼り付けてください。

コルクスペーサーを貼るときは、やわらかい布の上で作業を行うなど、スピーカー表面に傷を付けないようご注意ください。

アンテナを接続する

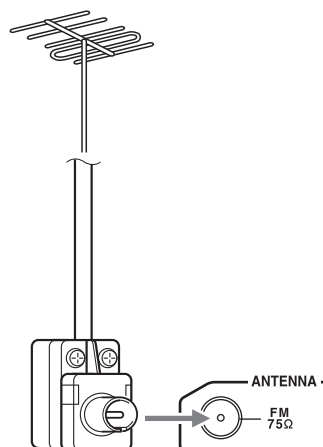
ここでは、付属の FM アンテナの接続方法を説明します。
FM アンテナを接続しないと本機で FM 放送を受信することはできません。必ず FM アンテナを接続してください。

ご注意

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。(29 ページ)

！ヒント

付属のFMアンテナは室内用の簡易アンテナです。鉄筋の建物の中や送信所から遠い場合など、電波が弱くて安定した受信ができないことがあります。
その場合は、市販のFM屋外アンテナの接続をおすすめします。

FM 屋外アンテナを接続する

FM 屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

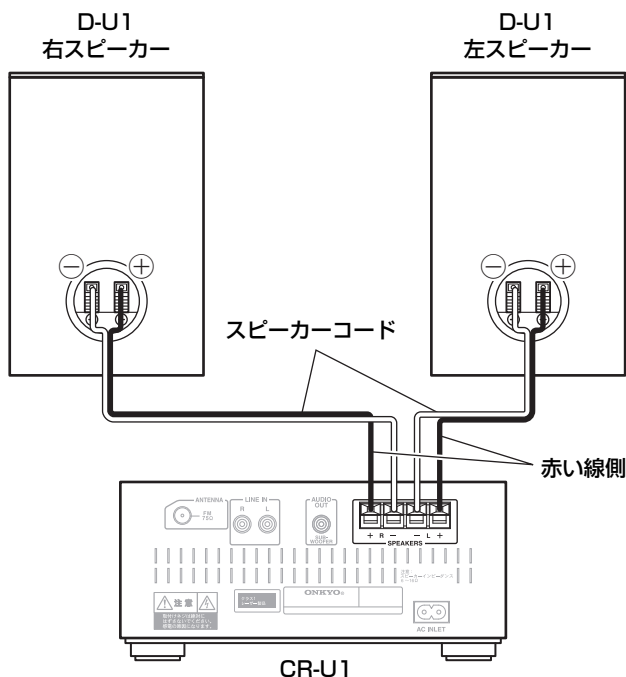
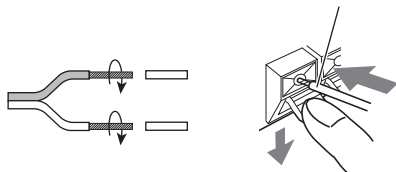
ご注意

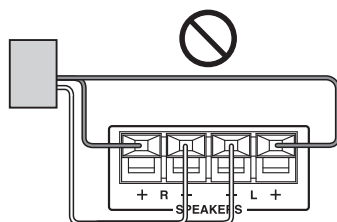
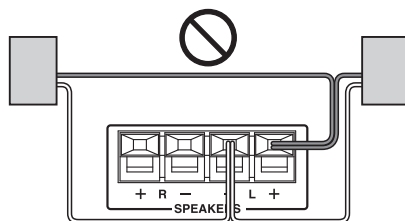
- **アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。**
- **送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。**

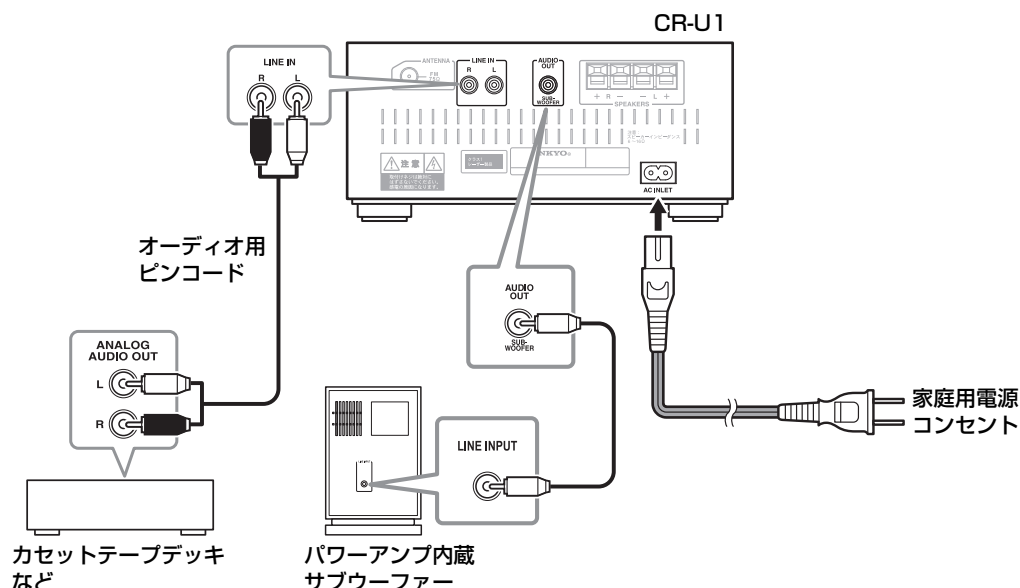
！ヒント

ケーブルテレビをご覧の方は、FMがテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定した FM 受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

スピーカーを接続する

ここでは、付属のスピーカーの接続方法を説明します。

1. ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線をよじります。
2. スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。指を離すとレバーが戻ります。スピーカーコードのビニールカバーをはさみ込まないようにしてください。
3. スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

ご注意

- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。
- スピーカーのプラス ⊕ と本体のプラス ⊕ を、スピーカーのマイナス⊖と本体のマイナス⊖を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方をプラス ⊕ 側に接続してください。
- 同梱のスピーカー(D-U1)以外は接続しないでください。他のスピーカーを組み合わせてご使用になった場合の性能・故障については、保証できません。
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続したり、1 つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列に接続しないでください。故障の原因になります。

- 故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線どうしやしん線を背面パネルに絶対に接触させないでください。

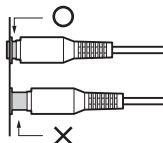
外部機器を接続する

接続の前に

- イラストは一例です。他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードについて

オーディオ用ピンコードは、白いプラグを左(L)チャンネル、赤いプラグを右(R)チャンネルに接続してください。

コードのプラグはしっかり奥まで差し込んでください。接続が不完全だと、雑音や動作不良の原因になります。

ご注意

- **設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。通風孔がふさがれて危険です。**

パワーアンプ内蔵サブウーファーを接続する

パワーアンプ内蔵サブウーファーを接続して使用できます。
本機のAUDIO OUT端子とサブウーファーの入力端子を接続します。
サブウーファーにパワーアンプが内蔵されていないものは、サブウーファーを接続したパワーアンプの入力端子と本機のAUDIO OUT端子を接続します。
詳しくは、サブウーファーに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

サブウーファーの電源を入れたまま本機の電源コードを抜き差ししないでください。サブウーファーの故障の原因となることがあります。電源コードを抜き差しするときはサブウーファーの電源は切ってください。

再生機器との接続

本機のLINE IN端子と再生機器(カセットテープデッキなど)やテレビの音声出力端子を接続します。

電源コードの接続

付属の電源コードを本体背面のAC INLET(インレット)に接続したあと、電源コードのプラグを家庭用電源コンセントに接続します。

ご注意

- **付属の電源コード以外は使用しないでください。**
  また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。故障や事故の原因となります。
- **電源コードのプラグをコンセントに差したままAC INLET側をはずさないでください。誤って電源コード内部の電極に触れると感電するおそれがあります。**
- **本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れて、コンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。**
- **電源コードのプラグは、すぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントに接続してください。**

USB ポートの接続について

本機に搭載されているUSBポートは、KD-A1 または USB フラッシュメモリーを接続して音楽をお楽しみいただけるようになっています。
お買い上げ時は、KD-A1 に iPod/iPhone/iPad を接続してお使いいただけるように設定されています。
USB フラッシュメモリーを接続する場合は、次の方法で入力を切り換えてください。

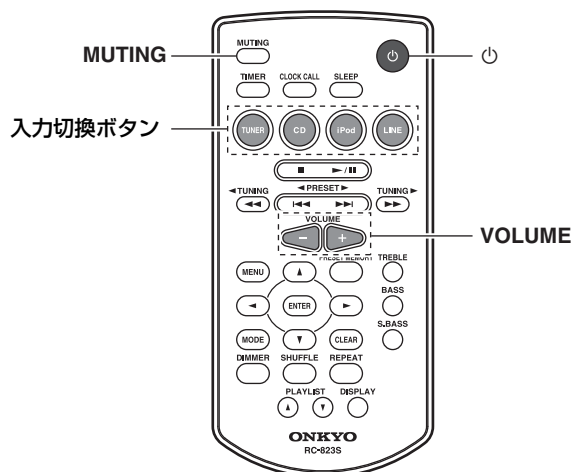
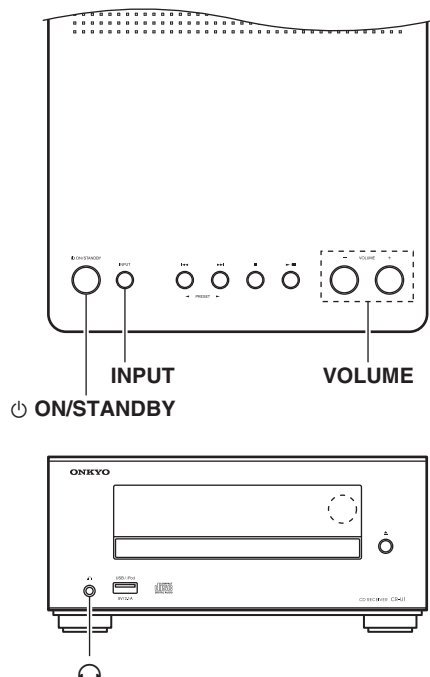
1 **本機の電源を入れ、本体の[INPUT]ボタンまたはリモコンの入力切換（iPod）ボタンで iPod を選択する**

2 **[MODE]ボタンを「USB」と表示されるまで押し続ける**

USB フラッシュメモリーの接続モードに切り換わりました。
一度 USB に設定すると、モードを切り換えるまで USB のままお使いいただけます。

KD-A1 を使用する場合は、同じ方法で接続モードを iPod に切り換えてから KD-A1 を接続してください。

本機の USB ポートにパソコンを接続しないでください。本機のUSB ポートにはパソコンから音声を入力できません。

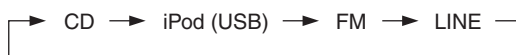
基本の操作

電源を入れる

本体の[⏻ ON/STANDBY]ボタンを押す

リモコンの[⏻]ボタンでも同様です。
表示部が点灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、もう一度ボタンを押します。
KD-A1 に iPod/iPhone/iPad を接続して使用しているとき、本機がスタンバイ状態でも、本機の iPod アラームモード(☞ 35 ページ)が On に選択されていれば、「Charging」と表示され、iPod/iPhone/iPad が充電されます。それ以外の設定では、スタンバイ状態で充電はされません。

入力を切り換える

本体の[INPUT]ボタンまたはリモコンの入力切換(TUNER、CD、iPod、LINE)ボタンを押して切り換えます。
TUNER(FM)、CD、iPod(USB)、LINE(接続した外部機器)から選べます。本体の INPUT ボタンは、押すごとに入力が次のように切り換わります。

→ CD → iPod (USB) → FM → LINE ─┐(CDへ戻る)

音量を調節する

VOLUME[+]ボタンを押すと音量が上がり、VOLUME[−]ボタンを押すと音量が下がります。
リモコンの VOLUME[+]/[−]ボタンでも同様です。

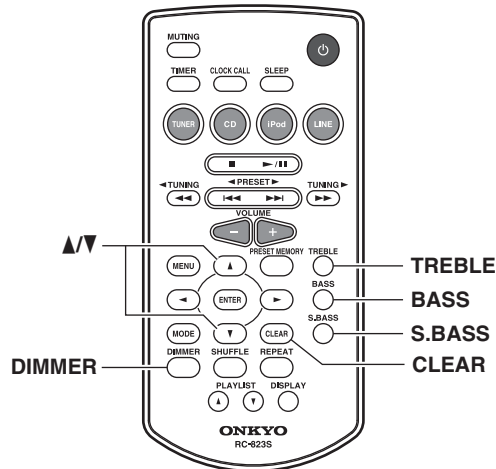
音を一時的に消す

リモコンの[MUTING]ボタンを押す

表示部に「Muting」と数秒間表示され、MUTING 表示が点滅し、音が消えます。もう一度押すと、解除されます。
次のときも解除されます。

- 音量を調節したとき
- 一度スタンバイ状態にし、再度電源を入れたとき

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのステレオミニプラグを[🎧]端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。
ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

低音または高音を調節する

[BASS(バス)]ボタンまたは[TREBLE(トレブル)]ボタンを押した後、[▲]/[▼]ボタンを押して調節する

－５から＋５の範囲で調節できます。
５秒間操作しないと、元の表示に戻ります。

[▲]/[▼]の変わりに[CLEAR(クリア)]ボタンを押すと設定を「0」にできます。

重低音を強調する

[S.BASS(スーパーバス)]ボタンを押す

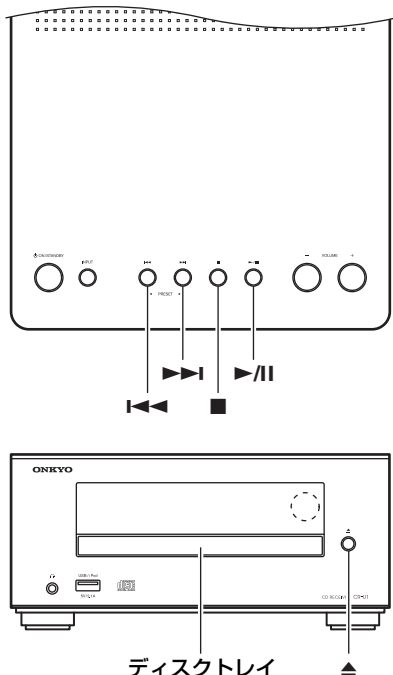
ボタンを押すたびにS.Bass Off、S.Bass 1、S.Bass 2、S.Bass Offと切り換わります。
数字が大きくなるほど、より重低音が強調されます。
S.BASS機能を解除するには、[S.BASS]ボタンをくり返し押し、「S.Bass Off」を表示します。

表示部の明るさを切り換える

リモコンの[DIMMER(ディマー)]ボタンを押す

ボタンを押すたびに明るさが「暗い」→「ふつう」の順に変わります。

CD を再生する

本体で操作する

1 [⏏(イジェクト)]ボタンを押し、ディスクトレイを開ける

！ヒント

スタンバイ状態のときに[⏏]ボタンを押すと、自動的に電源が入りディスクトレイが開きます。

2 ディスクトレイに CD をラベル面を上にしてのせる

8cmCD はディスクトレイの真ん中にのせてください。

3 [►(プレイ) / II(ポーズ)]ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。
「►」表示が点灯します。

■ 再生を止めるには

[■(ストップ)]ボタンを押します。
最後の曲の再生が終わると、自動的に再生は停止します。

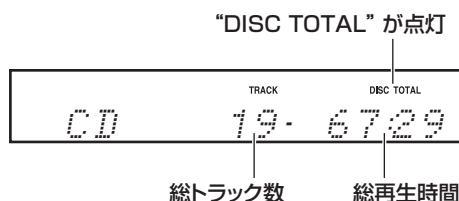
■ 一時停止するには

[►/II]ボタンを押します。
「II」表示が点灯します。再生を再開するには[►/II]ボタンを押します。

■ CD を取り出すには

[⏏]ボタンを押します。
ディスクトレイが開きます。
ディスクトレイを閉めるときは、もう一度[⏏]ボタンを押します。

停止中の表示例

オーディオ CD の場合

聞きたい曲を選ぶ

[I◄◄]ボタンを 1 回押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 曲ずつ前に戻り再生が始まります。
[►►I]ボタンを押すと 1 曲ずつ次へ進みます。

ご注意

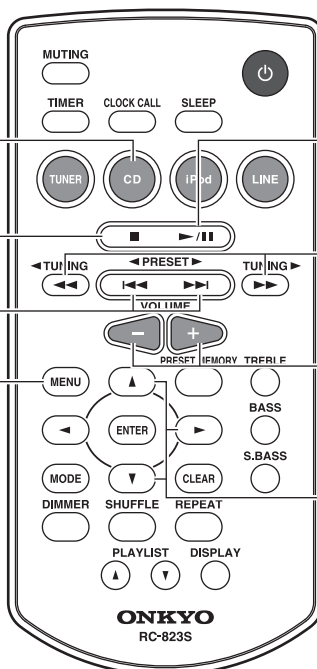
リモコンでの操作は次ページをご覧ください。

リモコンで操作する

CD を選ぶ
CD がセットされていれば、再生が始まります。
スタンバイ状態でも電源が入り、入力が CD になります。

再生を止める

聞きたい曲を選ぶ
[|◄◄] ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 つずつ前の曲に戻り再生します。
[►►|] ボタンを押すと 1 つずつ次の曲に進みます。

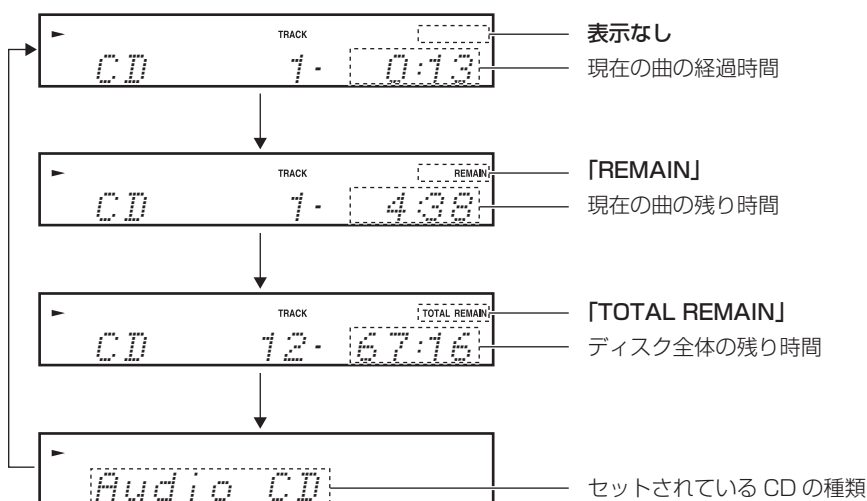
ルートフォルダに戻る（MP3 のみ）
[MODE] ボタンを押し、フォルダ / ファイル選択モードの時に働きます。

再生 / 一時停止する
スタンバイ時に押すと、本機の電源が入り、スタンバイになる前に CD が選択されていた場合は、CD の再生を始めます。
再生中に押すと一時停止状態になります。

早戻し / 早送りをする
再生中に押し続け、聴きたいところで指を離します。

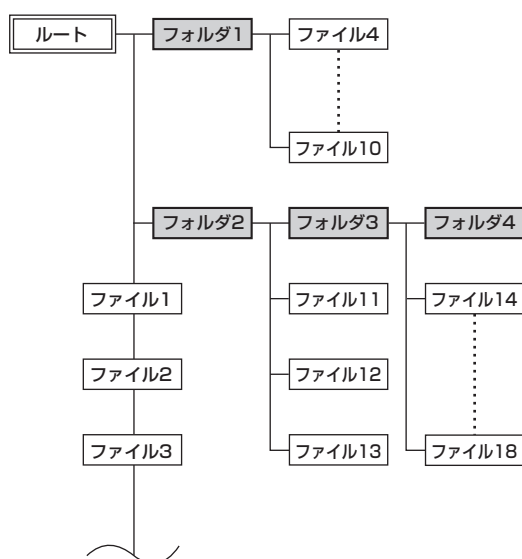
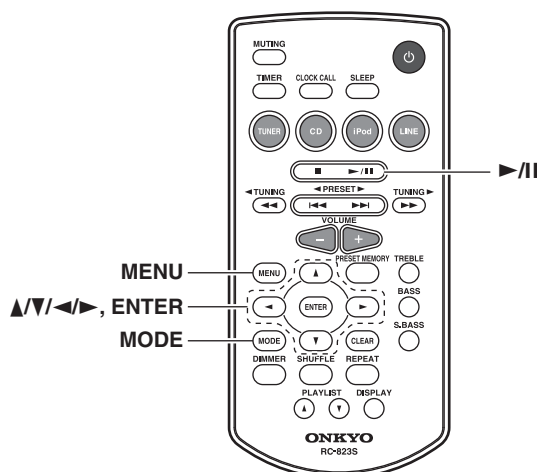
音量の調節
VOLUME［+］ボタンで音量が上がり、VOLUME［−］ボタンで音量が下がります。

フォルダ / ファイルを選択する（MP3 のみ）
[MODE] ボタンを押し、[▲] ボタンを押すと前のフォルダ / ファイルを、[▼] ボタンを押すと次のフォルダ / ファイルを選択できます。
[►] ボタンでフォルダの中に入ります。
[▼] ボタンを押すと、選択したフォルダ内のファイルを表示します。

表示部の情報を切り換える

再生中または一時停止中にリモコンの [DISPLAY（ディスプレイ）] ボタンをくり返し押すと、CD の情報を切り換えることができます。

ご注意
MP3 ディスクの場合は 25 ページをご覧ください。

CD（MP3）のフォルダやファイルを選ぶ

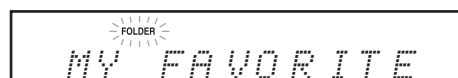
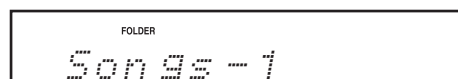
CD（MP3）では、ルートにファイルがあったり、フォルダの中にファイルが入っているものもあります。フォルダの中にさらにフォルダが入っていて、その中にファイルが入っている場合もあり、下図の例のように階層構造になっています。

再生するときにフォルダもファイルも選ばなかったときは、上記のファイル番号順に再生します。

ランダム再生モードになっているときは、上記のファイル番号順には再生されません。上記のファイル番号順に再生するためには、ランダム再生を解除してください。（☞ 25 ページ）

1 停止中に[MODE]ボタンを押す

「FOLDER」が点灯し、最初のフォルダ名が表示されます。

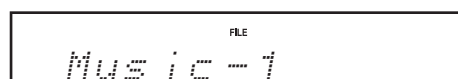
FOLDER
MY FAVORITE

2 [▲]/[▼]ボタンでフォルダを選択する

FOLDER
Songs-1

[ENTER]ボタンまたは[►]ボタンを押してフォルダ内に入ります。

3 [▲]/[▼]ボタンでフォルダ内の MP3 ファイルを選択する

選択したMP3ファイルのファイル名が表示されます。

FILE
Music-1

別のフォルダを選ぶときは、[◄]/[►] ボタンを押し、[▲]/[▼]ボタンを押してフォルダを選択し、[ENTER]ボタンを押します。[▲]/[▼]ボタンでファイルを選択します。

4 [ENTER]ボタンまたは[► / II]ボタンを押す

再生が始まります。
再生は選択したファイルからスタートします。
再生中に別のフォルダを選びたいときは、[MODE]ボタンを押し、FOLDERインジケーターが点灯している時に[◄]/[►]/[▲]/[▼]ボタンを押してフォルダを選び、[ENTER]ボタンを押します。
その後、[▲]/[▼]ボタンで MP3 ファイルを選ぶことができます。

■ 一時停止するには

[►/II]ボタンを押します。
「II」表示が点灯します。再生を再開するには[►/II]ボタンを押します。

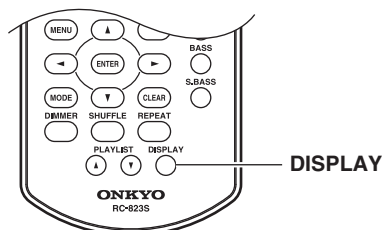
■ 上位または下位のフォルダを選ぶには

[◄] ボタンで上位のフォルダに、[►] ボタンで下位のフォルダを選ぶことができます。

■ ルートに戻るには

[MODE]ボタンを押してから[MENU] ボタンを押します。

表示部の MP3 情報を切り換える

MP3 ファイル再生中にリモコンの[DISPLAY]ボタンをくり返し押すと、表示部の情報を切り換えることができます。

MP3ファイル再生中にリモコンの[DISPLAY]ボタンをくり返し押す

次の順で表示されます。

- **再生中の曲の経過時間**
- **再生中の曲の残り時間**
- **ファイル名**
- **フォルダ名**
- **サンプリング周波数とビットレート（44k 128kbps など）**
- **ボリュームラベル名**

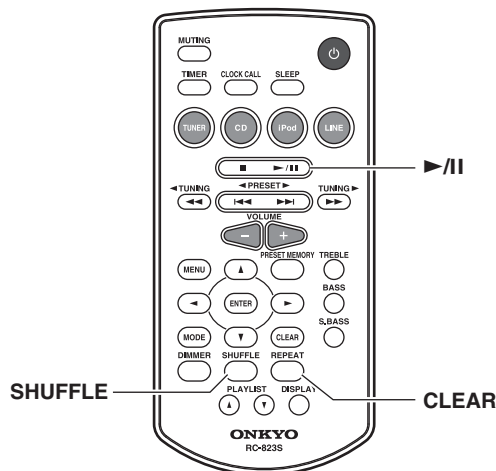
ご注意

- **半角英数字以外の文字は表示できません。**
- **半角英数字以外で入力されているフォルダ名、ファイル名、ボリュームラベル名は、文字化けして表示される場合があります。**

ランダム再生

曲順をランダムに並べかえて、全曲を一通り再生します。
ランダム再生は、リピート再生と組み合わせて使うこともできます。

ご注意

MP3 ファイルの場合は、同じ曲を再生することもあります。

ランダム再生は、入力が CD または USB のときに設定できます。

1 [SHUFFLE] ボタンを押して、「RANDOM」を表示させる

2 [► / II] ボタンを押す

■ ランダム再生を解除するには

[SHUFFLE] ボタンまたは [CLEAR] ボタンを押します。
ディスクを取り出しても解除されます。

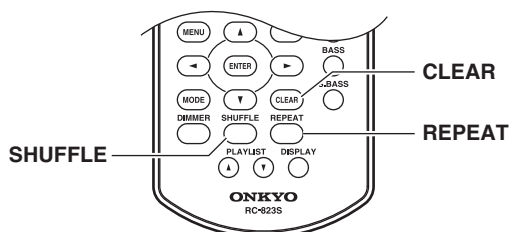
リピート再生

リピート再生は、CD全体をくり返し再生、または1曲をくり返し再生します。
リピート再生は、ランダム再生と組み合わせて使うこともできます。

[REPEAT(リピート)]ボタンを(くり返し)押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

「REPEAT」は全曲をくり返し再生します。
「REPEAT 1」は再生中の曲または選択した曲をくり返し再生します。

ご注意

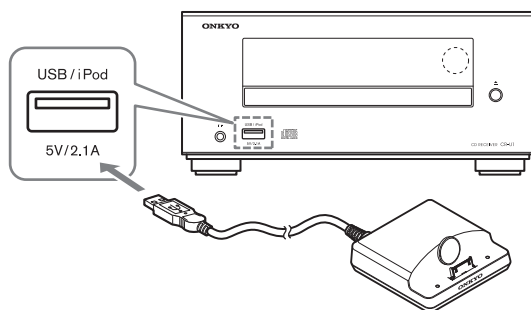
REPEAT 1 が設定されているときに [SHUFFLE(シャッフル)] ボタンを押すと、REPEAT 1 が解除され、ランダム再生になります。

■ リピート再生を解除するには

[REPEAT]ボタンを(くり返し)押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にします。または、[CLEAR(クリア)] ボタンを押します。
ディスクを取り出しても解除されます。

iPod/iPhone/iPad を再生する

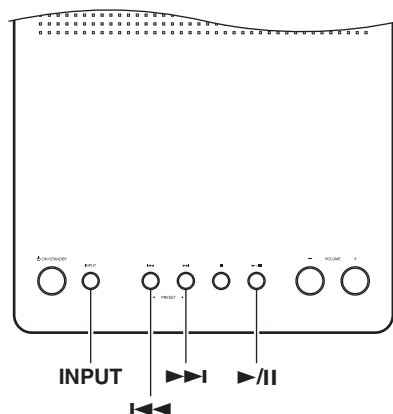
- ご使用になる前に、必ずご使用のiPod/iPhone/iPadを最新のバージョンにアップデートしてください。最新バージョンにするためのソフトウェアアップデーターは、Apple 社のホームページにて入手してください。
- iPod/iPhone/iPad が休止状態になっているときは、iPod/iPhone/iPad を KD-A1 に差し込み、操作可能な状態になってから操作してください。
- 本機を移動する場合は、KD-A1の接続は必ずはずしてください。
- iPod/iPhone/iPadの機種や再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。

KD-A1 の接続

1 USB ポートに KD-A1 を接続する

2 KD-A1 の iPod コネクターに iPod/iPhone/iPad を接続する

ご注意

- **KD-A1 を USB ポートに接続したり、はずしたりするときは、本体が動かないように手で支えてください。**
- **iPod/iPhone/iPadをケースなどに入れている場合は、完全に接続できず音が出ない、リモコンで操作ができないなどの問題が起きることがあります。iPod/iPhone/iPad はケースをはずしてから KD-A1 に接続してください。ただし、iPhone 4の純正バンパーは取り付けたまま接続可能です。**
- **iPod/iPhone/iPad を抜き差しするときは、ねじったりしてコネクタ部を傷つけないようにしてください。また、使用中に iPod/iPhone/iPad を前に倒したりすると、コネクタ部を破損する原因となりますので、ご注意ください。**
- **FM トランスミッターやマイクロフォンなど他のアクセサリーとは併用しないでください。動作不良などの原因となる場合があります。**

本体で操作する

1 **本機の電源を入れ、本体の[INPUT]ボタンまたはリモコンの入力切換(iPod)ボタンで iPod を選択する**

iPod/iPhone/iPad が正常に接続されていない場合、「No Device」と表示されます。

ご注意

入力表示に「USB」と表示される場合は、接続モードが USB になっています。[MODE]ボタンを「iPod」と表示されるまで押し続け、接続モードを iPod に切り換えてから KD-A1 を接続し直してください。(☞ 19 ページ)

2 **[► / II]ボタンを押す**

再生が始まります。

■ 聞きたい曲を選ぶ

再生中、一時停止中に[I◄◄]ボタンを 1 回押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと1曲ずつ前に戻ります。[►►I]ボタンを押すと 1 曲ずつ次へ進みます。

■ 一時停止する

[►/II]ボタンを押します。
もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

ご注意

リモコンでの操作は次ページをご覧ください。

リモコンで操作する

再生 / 一時停止する

iPod を選ぶ

早戻し / 早送りをする
再生中 / 一時停止中に押し続け、聴きたいところで指を離します。

一時停止する

聞きたい曲を選ぶ
再生中 / 一時停止中に［I◄◄］ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと 1 つずつ前の曲に戻ります。
［►►I］ボタンを押すと 1 つずつ次の曲に進みます。

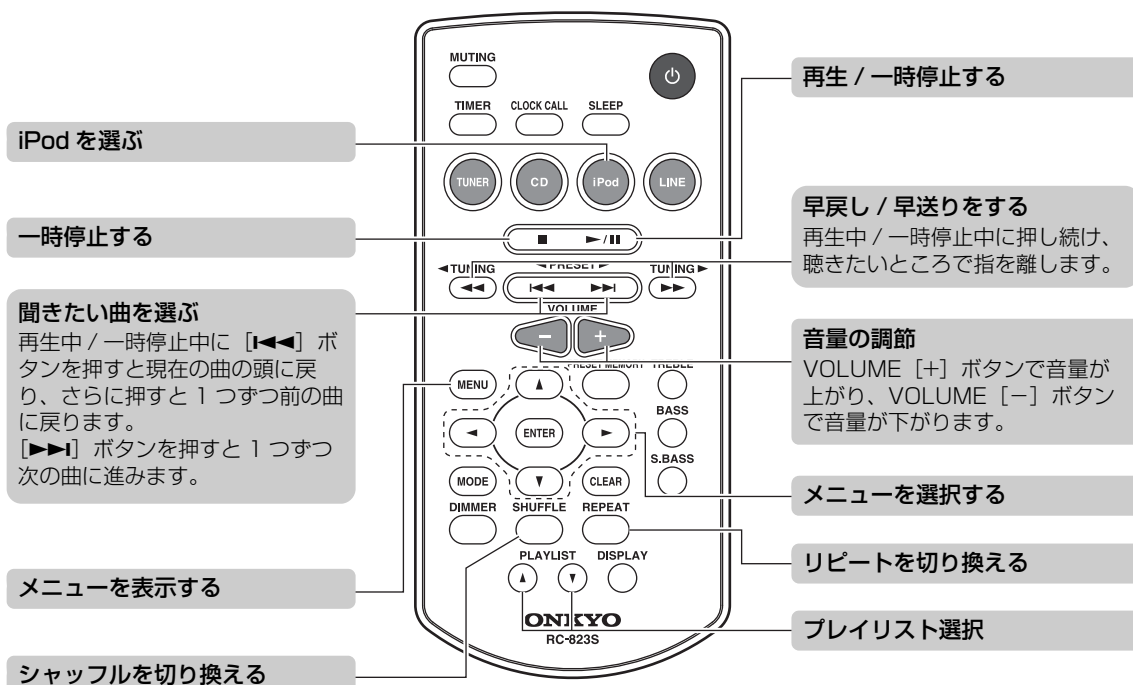
音量の調節
VOLUME［+］ボタンで音量が上がり、VOLUME［−］ボタンで音量が下がります。

メニューを選択する

メニューを表示する

リピートを切り換える

プレイリスト選択

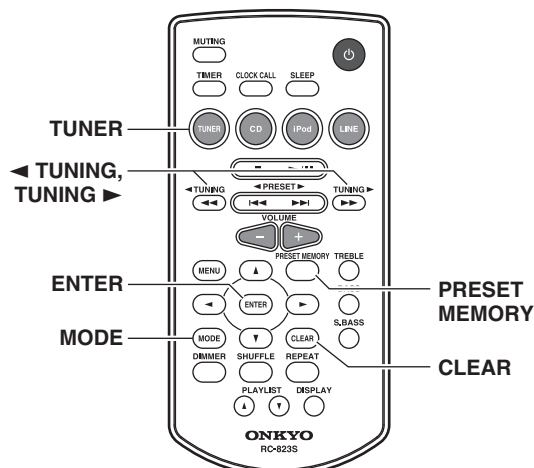
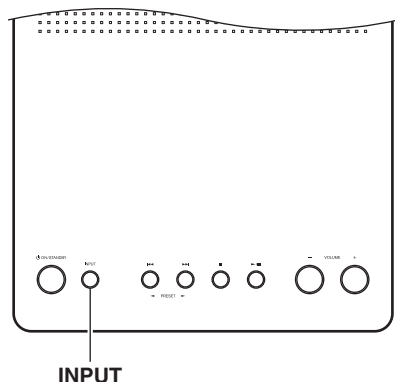
シャッフルを切り換える

iPod/iPhone/iPad のメニュー操作

1 [MENU]ボタンを押して、iPod/iPhone/iPad にメニューを表示させる

2 [▲]/[▼]/[◄]/[►]ボタンを押し、iPod/iPhone/iPad のメニュー項目（反転）を移動させる

3 [ENTER]ボタンを押して、項目を選択する

音量は本機の VOLUME[−]/[+]ボタンで調節します。iPod/iPhone/iPad 側で調節しても音量は変わりません。

FM 放送を聞く

周波数を合わせて聞く

放送局を受信するとチューニング表示(►●◄)が点灯します。

FMステレオ局を受信すると、F M ST(エフエム ステレオ) 表示が点灯します。

AUTO ►●◄ FM ST
FM 87.50 MHz

リモコンの[MODE(モード)]ボタンを押すごとに、Auto(オート) モードと Mono(モノ) モードが切り換わります。Auto モードでは、「AUTO」表示が点灯します。

1 **本機の電源を入れ、本体の[INPUT(インプット)]ボタンまたはリモコンの入力切換(TUNER(チューナー))ボタンで FM を選択する**

2 **リモコンの[◄ TUNING(チューニング)]/[TUNING ►]ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる**

1 回押すごとに周波数が 0.1MHz ずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。ボタンをしばらく押してから指を離すと自動的に周波数が上がり(下がり)、放送局を受信すると自動的に停止します。途中で止めるときは、[CLEAR(クリア)]ボタンを押します。

■ 放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所では、[MODE]ボタンを押し、「AUTO」表示を消してモノラル受信(Monoモード)にしてください。雑音や音切れを軽減できます。
Auto モードに戻すときは、[MODE]ボタンを再度押します。
通常は Auto モードにしておいてください。自動的に FM ステレオ受信となります。

放送局を自動で登録する(オートプリセット)

放送局を登録すれば周波数で合わせなくても選局できます。受信から登録まで、自動(オート)で行えます。
登録には、このオートプリセットと 1 局ずつ登録する方法があります。(☞ 30 ページ)

ご注意

オートプリセットを行うと、現在登録されている放送局はすべて消えますので、ご注意ください。

1 **本機の電源を入れ、本体の[INPUT]ボタンまたはリモコンの入力切換(TUNER)ボタンで FM を選択する**

FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。(☞ 16 ページ)

2 **[PRESET(プリセット) MEMORY(メモリー)]ボタンを押す**

「Auto(オート) Preset(プリセット)?」が表示されます。

3 **[ENTER(エンター)]ボタンを押す**

オートプリセットが始まります。
周波数の低い方から自動的に最大30 局まで登録していきます。
オートプリセットを途中で止めるには、[CLEAR]ボタンを押します。

ご注意

受信環境によっては、放送局でないノイズなどが登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。**(☞ 30 ページ)**

放送局を 1 局ずつ登録する

受信した局を 1 局ずつ登録します。
全部で 30 チャンネルまで登録できます。

1 **登録したい放送局を受信する**

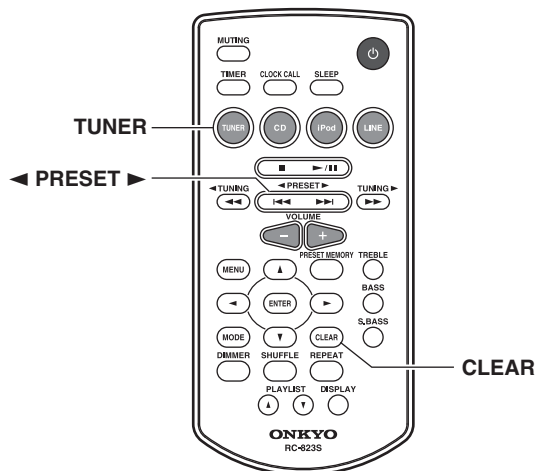
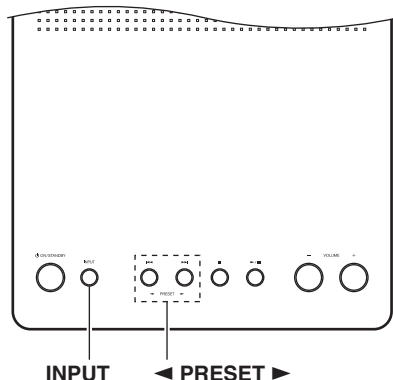
29 ページを参考に、登録したい放送局を受信します。

2 **[PRESET MEMORY]ボタンをチャンネル番号が点滅するまで押し続ける**

チャンネル番号が点滅したら、ボタンから指を離します。しばらくするとチャンネル番号が点灯し、登録されます。
チャンネル番号は登録されていない最小の番号から順に振られます。

登録数が 30 を超えると「Preset FULL」と表示され、これ以上登録できなくなります。登録をする場合は、登録済みのチャンネルを削除してください。

登録した放送局を聞く

あらかじめ放送局を登録しておいてください。

1 **本機の電源を入れ、本体の[INPUT]ボタンまたはリモコンの入力切換(TUNER)ボタンで FM を選択する**

最後に受信していた放送局が受信されます。

2 **[◄ PRESET ►]ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ**

！ヒント

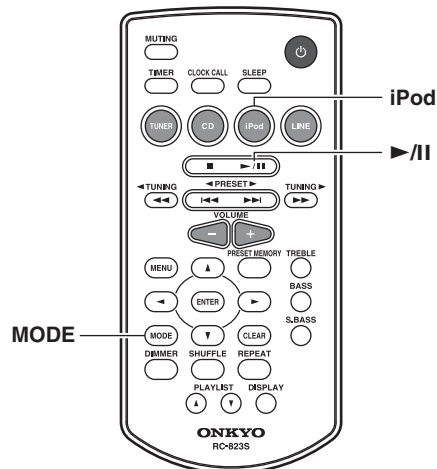
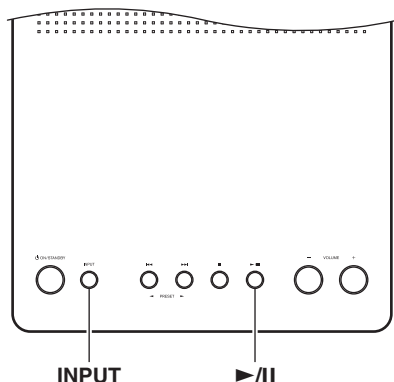
スタンバイ状態でリモコンの[TUNER]ボタンを押すと、本機の電源が自動的に入り、最後に受信していた放送局が受信されます。

登録した放送局を削除する

1 **削除するチャンネルを呼び出す**

2 **チャンネルが削除されるまで[CLEAR]ボタンを押し続ける**

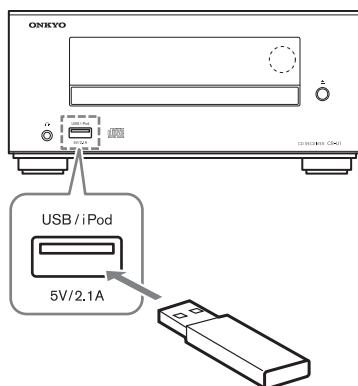
プリセットの削除が完了すると、削除した番号以降の番号を詰めて表示し直します。

USB フラッシュメモリーの再生

1 KD-A1 を USB ポートからはずす

2 本機の電源を入れ、本体の[INPUT]ボタンまたはリモコンの入力切換(iPod)ボタンで iPod を選択する

「No Device」と表示されます。

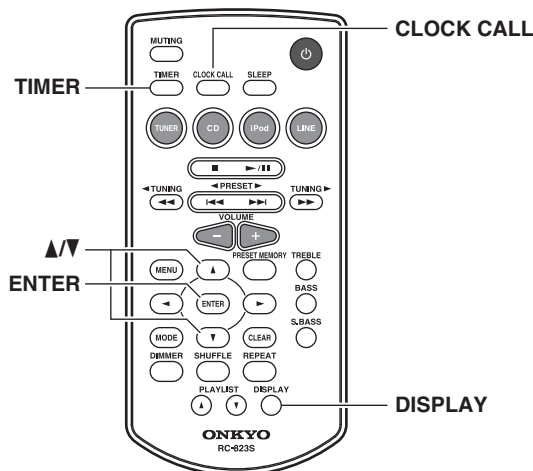
3 [MODE]ボタンを「USB」と表示されるまで押し続ける

4 USB フラッシュメモリーを USB ポートに接続する

5 [► / II]ボタンを押す

再生が始まります。
フォルダ/ファイルの選択、ランダム再生、リピート再生は CD(MP3)の再生と同じです。
(☞ 24 ページ)

ご注意

- USB フラッシュメモリーを USB ポートに接続したり、はずしたりするときは、本体が動かないように手で支えてください。
- 使用できる USB フラッシュメモリーのフォーマットなどについては 8 ページ「USB フラッシュメモリーの再生について」をご覧ください。
- KD-A1 を使用する場合は、接続モードを iPod に切り換えてください。(☞ 19 ページ)

時計を設定する

1 [TIMER]ボタンをくり返し押し、「Clock」を表示する

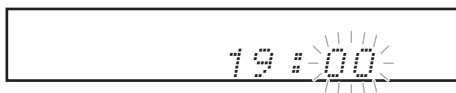
Clock

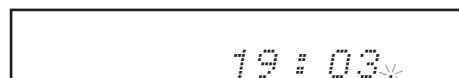
2 [ENTER]ボタンを押す

3 [▲]/[▼]ボタンで「時」を合わせる

工場出荷時は、24 時間表示になっていますので、24 時間表示の場合の「時」で合わせてください。

12 時間表示で合わせる場合は、[DISPLAY]ボタンを押します。

4 [ENTER]ボタンを押す

5 [▲]/[▼]ボタンで「分」を合わせる

6 時報に合わせて[ENTER]ボタンを押す

時計が動作を開始し、秒を示すドットが点滅します。

■ 時計を表示させる

電源が入っているときは、リモコンの[CLOCK CALL]ボタンを押します。
再度[CLOCK CALL]ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
スタンバイ時は、[CLOCK CALL]ボタンを押すと、約 8 秒間表示した後、消灯します。

■ 12 時間表示と 24 時間表示の切り換え

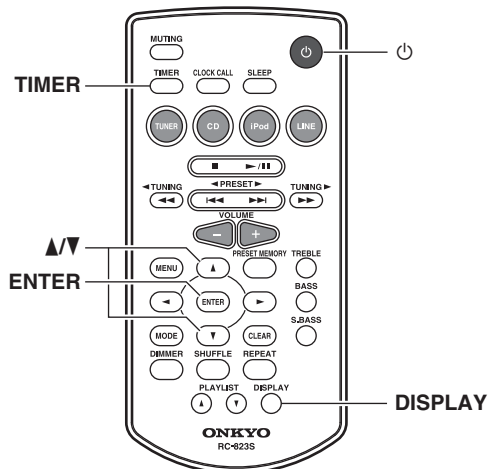
[CLOCK CALL]ボタンを押して時計を表示させている間に、[DISPLAY]ボタンを押します。

タイマー機能を使う

本機には、設定した時刻に自動的に再生を始める予約タイマーと設定した時間が経過すると自動的にスタンバイ状態になるスリープタイマーが搭載されています。
また、iPod/iPhone/iPadのアラーム再生機能を使用してのタイマー再生が行えます。

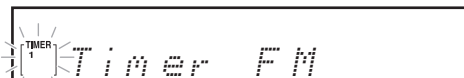
タイマーを予約する

ご注意

- 時計が設定されていないと、タイマー予約はできません。
- 設定中5秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。
- タイマーによって本機の電源が入ったとき、FMでは最後に受信していた局を受信し、CD および iPod (USB)では最初の曲が再生されます。LINE の場合は、接続された機器の状態で再生が始まります。
- 設定できるタイマーは 1 つです。

1 タイマー動作させるソースの用意をする。

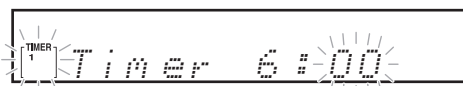
FM は聞きたい局を受信します。
CD は聞きたいディスクをセットします。
iPod/iPhone/iPad は KD-A1 にセットします。
iPod/iPhone/iPadの代わりにUSBフラッシュメモリーを使用する場合は、入力を USB に切り替えます。(☞ 31 ページ)
LINE は接続した機器をタイマー動作と同時に動作するようにセットしておきます。

2 [TIMER(タイマー)]ボタンをくり返し押し、「Timer XX」を表示させる

「XX」は前回のタイマー設定で設定したソースが表示されます。

3 [▲]/[▼]ボタンを使って、タイマー動作させる入力ソースを選択し、[ENTER(エンター)]ボタンを押す

選択できる入力ソースは、FM、CD、iPod (USB)、LINE です。
選択した入力ソースに合わせて、「TIMER」および番号表示が点滅します。
番号表示は「1」が FM、「2」が CD、「3」が iPod (USB)、「4」が LINE を表します。

4 [▲]/[▼]ボタンを使って、タイマー動作させる「時」を設定し、[ENTER] ボタンを押す

5 [▲]/[▼]ボタンを使って、タイマー動作させる「分」を設定し、[ENTER] ボタンを押す

6 [▲]/[▼]ボタンを使って「Timer On」を選択し、[ENTER] ボタンを押す

タイマーが設定されると「Timer On」と表示され、「TIMER」および選択した入力ソースの番号表示が点灯します。
数秒間無操作の場合は表示されている内容で設定されます。
「TIMER」および選択した入力ソースの番号表示以外は元の表示に戻り、タイマーが設定されます。

7 本体の[⏻ ON(オン)/STANDBY(スタンバイ)]ボタンまたはリモコンの[⏻]ボタンを押し、本機をスタンバイ状態にする

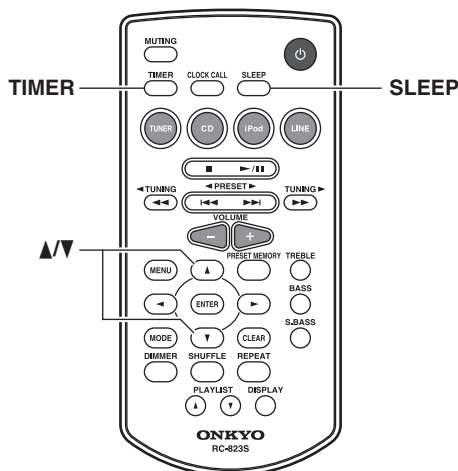
！ヒント

- タイマー設定を途中でキャンセルするには、[TIMER]ボタンを押します。
- 時刻設定中に [DISPLAY(ディスプレイ)] ボタンを押すと、12時間表示 /24 時間表示を切り替えることができます。

ご注意

- タイマーを動作させるには、本機をスタンバイ状態にする必要があります。
  SLEEP タイマーでスタンバイ状態になった場合もタイマーが設定されているとタイマー動作をします。
  タイマーは、一度 On に設定すると、毎日同じ時刻に再生が始まります。ご旅行などでお出かけの際は、必ず Off に設定することを忘れないでください。
- タイマー動作で電源が入ると、「SLEEP」表示が点灯します。操作しない状態が 1 時間続くと、自動的にスタンバイ状態になります。何か操作をすると「SLEEP」表示は消え、動作を続けます。

タイマーの On(実行)/Off(取消)を切り換える

予約したタイマーの実行を取り消したり、タイマーを再び実行させることができます。

1 [TIMER]ボタンをくり返し押し、「Timer On」(実行)または「Timer Off」(取消)を表示させる

2 [▲]/[▼]ボタンを使って「Timer On」(実行)または「Timer Off」(取消)を選択し、[ENTER] ボタンを押す

数秒間無操作の場合は表示されている内容で設定され、元の表示に戻ります。
Timer On(実行)が設定されると「TIMER」および選択した入力ソースの番号表示が点灯します。
Timer Off(取消)が設定されると「TIMER」表示は消灯します。

SLEEP タイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的にスタンバイ状態になります。

[SLEEP]ボタンを押す

「SLEEP」表示が点灯します。[SLEEP]ボタンをくり返し押し、スタンバイ状態になる時間を設定します。
ボタンを押すごとに 10 分単位で時間が短くなります。
3 秒後に元の表示に戻ります。

■ 残り時間を確認するには

[SLEEP]ボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
残り時間が表示されている間に[SLEEP]ボタンを押すと、設定時間が 10 分単位で減少します。
たとえば[SLEEP]ボタンを押して残り時間が 55 分と表示された場合、もう一度[SLEEP]ボタンを押すと 50 となり、その後[SLEEP]ボタンを押すごとに 10 分単位で減少します。

■ SLEEP タイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまで[SLEEP]ボタンをくり返し押します。

タイマー動作で電源が入ると、「SLEEP」表示が点灯します。何か操作をすると「SLEEP」表示は消えます。SLEEP タイマーを設定する場合は、「SLEEP」表示が消えてからあらためて設定し直してください。

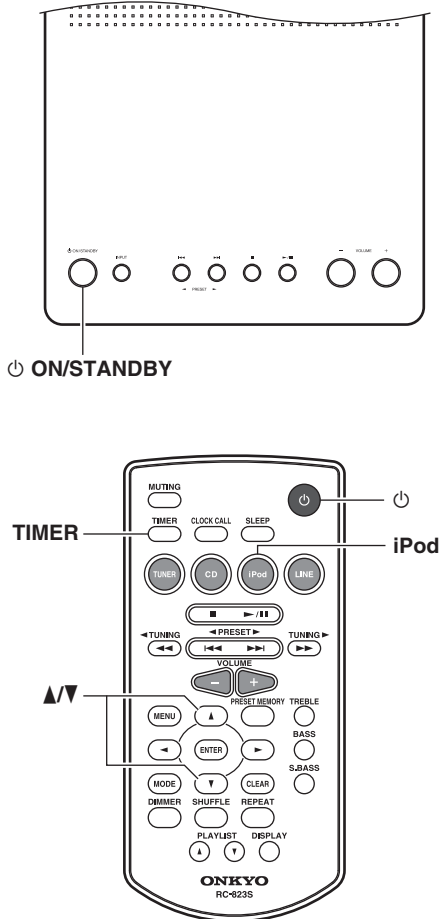
iPod/iPhone/iPad のアラーム機能を使用してのタイマー再生

本機に接続した iPod/iPhone/iPad がアラーム再生により曲を再生すると、本機の電源が入り、入力が iPod になります。

1 iPod/iPhone/iPad を操作し、アラーム再生を設定する

2 [TIMER(タイマー)]ボタンをくり返し押し、iPod アラームモードの「iPodAlarmOff(アラーム オフ)」を表示させる

3 [▲]/[▼]ボタンを使って「iPodAlarmOn(アラーム オン)」を選択し、[ENTER] ボタンを押す

数秒間無操作の場合は表示されている内容で設定され、元の表示に戻ります。

4 本体の[⏻ ON/STANDBY(オン スタンバイ)]ボタンまたはリモコンの[⏻]ボタンを押し、本機をスタンバイ状態にする

iPod/iPhone/iPadのアラーム再生が始まると、本機の電源が入り、入力が iPod になります。

ご注意

- タイマーを動作させるには、本機をスタンバイ状態にする必要があります。
- iPod/iPhone/iPad は必ず KD-A1 を使って接続してください。
- iPod/iPhone/iPad本体のベル音などを鳴らすアラームでは、タイマー再生は働きません。アプリケーションによる曲再生やプレイリストなどを再生することにより動作します。
- iPod/iPhone/iPadのアプリケーションによっては動作しない場合があります。
- iPod アラームモードを On にしていると、スタンバイ時にもオフの時より電力を消費します。iPod/iPhone/iPadのアラーム機能を使用してのタイマー再生を使わない時は、待機時電力を増やさないためにも iPod アラームモードを Off に設定してください。(☞ 38 ページ)
- iPod/iPhone/iPad を充電させるには、iPodアラームモードを On に設定する必要があります。
- USB ポートの接続モードが「USB」になっていると動作しません。(☞ 19 ページ)

！ヒント

この機能で、本機の電源が入り、入力が iPod になるのは、本機がiPod/iPhone/iPadの曲の再生を検出することによります。iPod/iPhone/iPad のアラーム再生を使用せずにiPod/iPhone/iPadの曲を再生したときも同様に本機の電源が入り、入力が iPod になります。

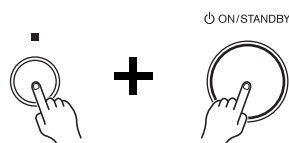
困ったときは

下記の内容をチェックしてみてください。本機以外の原因も考えられます。接続した機器の取扱説明書もご確認ください。

修理を依頼される前に

本機の動作が異常になったときは、本機をリセットすることによって問題が解消されることがあります。
修理を依頼される前に、下記の「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行い、本機をリセットしてみてください。

すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

本機の電源が入った状態で本体の[ストップ ■]ボタンを押しながら[⏻ オン ON/スタンバイ STANDBY]ボタンを押します。「RESET」と表示されたら、指を離します。しばらくするとスタンバイ状態になります。

リセットされ、FMのプリセットチャンネルや設定が出荷時の状態に戻ります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 電源コードが本体後面のAC INLETにしっかり接続されているか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、30分以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中で切れる

- 表示部に「SLEEP」表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**(34ページ)**

音に関して

音が出ない

- 音量が小さすぎませんか？
- 入力ソースが正しく選択されているか確認してください。**(20ページ)**
- 「MUTING」表示が点滅している場合は、ミューティング機能が働いていますので、リモコンの[MUTING]ボタンを押して解除してください。**(20ページ)**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーから音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**(20ページ)**
- LINE INに接続した外部機器の音が出ない場合は、接続を確認してください。**(18ページ)**
- LINE INに接続した外部機器の音が出ない場合は、外部機器の音声出力レベル(音量)が低すぎないか確認してください。

音が良くない / 雑音が入る

- スピーカーの⊕⊖、左右(LR)が正しく接続されているか確認してください。
- ピンコードのプラグは奥までしっかり差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響を受けることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にディスクを読み取る音が聞こえることがあります。

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されていますので、できるだけ振動の少ない設置場所でご使用ください。
- スピーカーに付属のコルクスペーサーは貼り付けられていますか？**(15ページ)**

ヘッドホンから音が出ない / ノイズが出る

- ヘッドホンプラグやヘッドホン端子を清掃してください。清掃方法は、ヘッドホンの取扱説明書を参照してください。また、ヘッドホンケーブルが断線していないか確認してください。

音質に関して

- 電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CDに関して

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。**(9ページ)**
- 結露していると思われる場合は電源コードを抜き、2～3時間以上室温で放置してください。**(10ページ)**
- CD-R/RW ディスクによっては再生できない場合があります。**(8ページ)**

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっていると音飛びすることがあります。振動の少ない場所に設置してください。
- ディスクに大きな傷や汚れがありませんか？汚れはふき取ってください。**(9 ページ)**

MP3 ディスクが再生できない

- 本機が対応しているMP3フォーマットか確認してください。**(8 ページ)**
- ディスクはクローズ(ファイナライズ)してください。
- ファイル名の後に「.mp3」、または「.MP3」という拡張子が付いていますか？

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用 CD の再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする / ディスクを認識せず「CD No Disc」の表示が出る /1 曲目を再生しない / 頭出しに通常よりも時間がかかる / 曲の途中から再生する / 再生できない箇所がある / 再生の途中で停止する / 誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用 CD の中には、CD 規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で正常に再生できない場合があります。

iPod/iPhone/iPad に関して

音が出ない

- 入力表示がiPodになっているか確認してください。もし USB になっている場合は、接続モードを iPod に切り換えてください。**(19 ページ)**
- 本機のiPodドック(KD-A1)にiPod/iPhone/iPadがしっかり接続されているか確認してください。**(15 ページ)**
- 本機の電源が入っているか、入力が「iPod」になっているか、音量が小さくなっていないか、確認してください。**(27 ページ)**
- お使いの iPod/iPhone/iPad が本機に対応しているか確認してください。**(3 ページ)**

操作できない

- 本機のiPodドック(KD-A1)にiPod/iPhone/iPadがしっかり接続されているか確認してください。**(15 ページ)**
- iPod/iPhone/iPad を iPod ドック(KD-A1)に接続してすぐは操作できない場合があります。しばらく待って操作し直してみてください。
- iPod/iPhone/iPad の機種やソフトウェアのバージョン、あるいは再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。
- 「No Device」と表示される場合は、一旦 iPod/iPhone/iPad を KD-A1 からはずし、再度接続し直してください。

充電できない

- iPod アラームを On にしていないと充電されません。**(34 ページ)**
- USBポートの接続モードが「USB」になっていると動作しません。**(19 ページ)**

USB フラッシュメモリーに関して

音楽ファイルが読み込めない

- 入力表示が USB になっているか確認してください。もし iPod になっている場合は、接続モードを USB に切り換えてください。**(19 ページ)**
  次にご使用のUSB フラッシュメモリーが本機と互換性があるものか確認してください。また、正しく接続されているか確認してください。**(8 ページ)**
- USB フラッシュメモリーによっては再生できない場合があります。**(8 ページ)**
- USB フラッシュメモリーが正しくフォーマットされていない。**(8 ページ)**
- USB ハブを使用している。USB フラッシュメモリーは直接 USB ポートに接続してください。
- 本機では、MP3 ファイル以外は再生できません。

MP3 ファイルが再生できない

- ファイル名の後に「.mp3」、または「.MP3」という拡張子が付いていますか？
- 本機が対応しているMP3フォーマットか確認してください。**(8 ページ)**
- 著作権保護されたMP3ファイルは再生できません。

FM 放送に関して

放送に雑音が入る /FM ステレオ放送のとき、サーというノイズが多い / オートプリセットで放送局が呼び出せない（FM のみ）/FM 放送で「FM ST」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。**(16 ページ)**
- アンテナの位置を変えてみてください。**(16 ページ)**
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 鉄筋の建物の中などは電波が遮断されるため受信しにくくなります。アンテナを窓際に設置してください。
- FM モードをモノラルに切り換えてみてください。**(29 ページ)**
- それでも受信状態がよくないときは、市販の室内アンテナまたは屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。**(16 ページ)**

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- 短時間の停電ではメモリー内容が消えることはありませんが、長時間電源プラグを抜いたままにすると時計設定のみ（タイマー含む）リセットされます。あらためて必要な設定を行ってください。

周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの[◄ TUNING]/[TUNING ►]ボタンを押して調整してください。**(29 ページ)**

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池が消耗していませんか？**(14 ページ)**
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？また、リモコンと本体の間に障害物がありませんか？**(14 ページ)**
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？**(14 ページ)**
- 本体を色付きのガラス扉が付いたラックやキャビネットに設置していると、扉が閉じているとリモコンが正常に機能しないことがあります。

外部機器との接続に関して

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

タイマーに関して

タイマー再生しない

- 時計は正しく設定されていますか？**(32 ページ)**
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。**(33 ページ)**
- タイマー設定中に[TIMER]ボタンを押すと、タイマー設定はキャンセルされます。**(34 ページ)**
- タイマー再生時の音量設定は、スタンバイにする直前の音量になります。適切に設定しておいてください。
- 停電になり、時計が停止するとタイマーもリセットされます。あらためて時計を設定し直し、タイマーを設定してください。

時計に関して

[CLOCK CALL］ボタンを押して、「－－：－－」と表示される

- 停電になり、時計が停止しました。あらためて時計を設定し直してください。**(32 ページ)**

その他

待機時電力について

- iPod アラームモードが On に設定されている時は、iPod/iPhone/iPadが接続されていなくても、待機時電力がおよそ 1.2W になります。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CD レンタル料等）については保証対象になりません。大切な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて約30分以上待ってからあらためて電源プラグを差し込んでください。
それでも直らない場合は、36 ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を参照してリセットしてください。

主な仕様

CD レシーバー部（CR-U1）

■ 総合

電源・電圧	AC 100V、50/60Hz
消費電力	30W
無音時消費電力	4.3W（USB、FM、LINE） 7.6W（CD）
待機時電力	0.2W
最大外形寸法	215（幅）×100（高さ）× 270（奥行）mm
質量	2.4kg
音声入力	アナログ：LINE
音声出力	サブウーファー、スピーカー、 ヘッドホン
USB	2.0HS

■ アンプ部

実用最大出力	2ch×15W（6Ω、1kHz、 1ch 駆動時（非同時駆動）、JEITA）
総合歪率	10%（定格出力時） 0.5%（1kHz、1W 出力時）
ダンピングファクター	60（1kHz、8Ω）
入力感度 / インピーダンス	1000mV/47kΩ（LINE）
周波数特性	40Hz ～ 20kHz/ ＋ 0dB、 － 3dB（LINE）
トーンコントロール最大変化量	±10dB、100Hz（BASS） ±10dB、10kHz（TREBLE） ＋ 4dB/+8dB、80Hz(S.BASS1/2)
SN 比	－ 84dB（LINE、IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス	6Ω ～ 16Ω

■ FM チューナー部

受信範囲	FM：76.00MHz ～ 90.00MHz
プリセットチャンネル数	30

■ CD 部

再生可能メディア	CD、CD-R/CD-RW （音楽 CD、MP3）

■ USB

再生可能メディア	USB フラッシュメモリー （MP3）

スピーカー部（D-U1）

形式	2 ウェイバスレフ型
定格インピーダンス	6Ω
最大入力	30W
定格感度レベル	82dB/W/m
定格周波数範囲	55Hz ～ 50kHz
クロスオーバー周波数	4.5kHz
キャビネット内容積	2.6 リットル
最大外形寸法	130（幅）×203（高さ）× 173（奥行）mm （サランネット、ターミナル突起部含む）
質量（1 台）	1.9kg
使用スピーカー	ウーファー： 10cm コーンウーファー ツィーター： 2cm バランスドーム
ターミナル	プッシュ式
防磁設計	有（JEITA）

iPod ドック（KD-A1）

外形寸法	85.3（幅）×36.3（高さ）× 85.3（奥行）mm
質量	250g
ケーブル長	0.6m

※ 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常があるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ **お名前**
- ▶ **お電話番号**
- ▶ **ご住所**
- ▶ **製品名** X-U1
- ▶ **できるだけ詳しい故障状況**

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 　　　年　　月　　日

ご購入店名： ____________________

Tel. 　　　　(　　　　)

メモ：

- -
- -
- -

ONKYO®

オンキヨーサウンド＆ビジョン株式会社
〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00〜18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

I1104-1

SN 29400763

* 2 9 4 0 0 7 6 3 *